

本校ではカリキュラムに学校の独自性を盛り込み、授業の活性化、学習の定着に努めています。3月14日（月）に外部団体の専門講師をコーディネーターとしてお招きし、1年生の「家庭基礎」の授業で10組のお母さんと乳児の参加協力を得て、乳児と直接にふれあい、お母さん方からお話を聴くことで、育児の楽しさ、乳児の発達の様子、乳児と母親の関わり的重要性などを学びました。最初は赤ちゃんに対しておそろおそろだった生徒達も、お母さん方の話を真剣に聴き、赤ちゃんの相手をしているうちに、優しく温かな眼差しになり、普段の学校生活では見られない、生徒達の意外な一面が見られました。



コーディネーターの概要説明



おそろおそろ抱っこ



赤ちゃんとも心が同方向になる



子ども目線で遊び相手



乳児をあやす男子生徒



話にも真剣にメモする生徒